

今、日本のすべての人に、きっと、役割がある。



3.11ユースダイアログ

12月12日(日) 13:00~15:30

◆参加方法

①オンライン参加 (Zoom) ※詳細は裏面参照 または

②会場での参加 (場所: 調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター)

◆定員 ①オンライン: 50名 または ②会場: 15名

◆対象 三鷹、小金井、狛江、調布、府中在住・在学の中学生・高校生

◆参加費 無料

※申込方法・問合せは、裏面をご覧ください。



ゲストスピーカー

佐藤 勇樹 (さとう ゆうき) さん

小学5年生の時に富岡町で被災し、親戚の家がある茨城県に中学校卒業まで避難した。中学3年9月に初めて一時帰宅をした時に3年半たっても震災当時からほとんど変わっていない状況を見たことで、福島県内の高校に進学することを決めた。現在は福島大学行政政策学類で復興行政を中心に学びながら、富岡町3.11を語る会の語り部として活動している。

佐藤 あかり (さとう あかり) さん

大船渡東高校3年生(太鼓部とソフトテニス部に所属)。小学校1年生の時に陸前高田市で被災。フォトジャーナリスト安田菜津紀さんが主催する東北スタディツアー2019(6期)に参加。安田菜津紀さんや、認定NPO法人桜ライン311のスタッフである父の佐藤一男とのメディアや講演会に出演している。

話の聞き手: 杉村 郁雄 (JCN)

ユースダイアログとは…?

今年10年を迎えた東日本大震災。今だから、話せること。

震災当時、小学生だったお二人は、どんな体験をされたのか。

震災からこれまでどのようなことを感じながら日々を暮らしてきたのか。

私たちはお二人の話から何を学び、学んだことをどう活かしていけばいいのか。

同世代のワカモノの話に耳を傾け、なにかを感じてほしい。



主催: 北多摩南部ブロック社協 (社会福祉法人 三鷹、小金井、狛江、調布、府中市社会福祉協議会)

共催: 東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)、東京ボランティア・市民活動センター、

特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)

助成: 復興庁コーディネート事業



◆申込方法 【締切 12/3 (金) まで】

会場参加の方

「調布市市民活動支援センター」へお申込みください。

調布市国領町2-5-15 コクティ-2階

TEL: 042-443-1220 FAX: 042-443-1221 e-mail: npo-center@ccsw.or.jp

- ・電車:京王線 国領駅(各駅停車のみ)改札口を出て右手に徒歩1分
- ・バス:狛江駅⇄武蔵境駅 小田急バス(境91系統)国領駅バス停 徒歩1分



オンライン参加の方

・在住、在学の地域のセンターへ次の項目をお申込みください。

①氏名(フルネーム・ふりがな)、②メールアドレスと連絡先(電話番号)、③学校名・学年

・申込先:みたかボランティアセンター メール:chiiki@mitakashakyo.or.jp

◆問合せ

※在住、在学の地域のセンターへ問合せください。

・みたかボランティアセンター

TEL: 0422-76-1271 メール: chiiki@mitakashakyo.or.jp

申込は
こちらから!



◆参加方法

◇Zoom参加の場合

<準備編>

①パソコン、タブレット、スマートフォンからご参加いただくことができます。

②参加するにあたり、ユースダイアログ前日までにZoomアプリを参加する機器にインストールしてください。

※Zoomのホームページ (https://zoom.us/download#client_4meeting) よりアプリをダウンロードすることができます。

<参加編>

③お申込み後、ユースダイアログ前日までにユースダイアログに参加できるZoomのURLをお送りします。

④当日は12時50分までに、お送りしたZoomのURLをクリックしてください(アクセスください)。

不安がある場合は、早めに(12時40分ごろ)にURLにアクセスして、つながるかご確認ください。

当日の問合せ先: 狛江市市民活動支援センターこまえくぼ1234 TEL: 03-5761-5556へご連絡ください。

Zoom



◇会場への参加の場合

①調布市市民活動支援センターのメールに必要事項を入力してお申し込みください(npo-center@ccsw.or.jp)。

②当日は12時30分から受付を開始しております。開始5分前(12時55分)までに会場へお越し下さい。遅れる場合や体調不良等でお休みする場合は、TEL: 042-443-1220へご連絡ください。